

文化部だよりーまず健康!!そしてもっと知り合い、もしもの時には助け合えるお仲間!!

- ①第15回築地買物ツアー 年末年始向けの食品の仕込みと忘年会を兼ねて美味しいランチを楽しみます。
日時：12月5日(木)10時30分に南北線東大前駅改札口に集合ください。
- ②第20回文京散歩・谷中七福神巡り 新年顔合わせと足慣らしのつもりで歩きます。
日時：2020年1月4日(土)9時30分追分バス停集合。
上記共に問合せは文化部：橋本Tel. 03-3815-8697まで

行事報告 & 町会負担金等 (9月～11月)

- 9/28 第2回中町会役員会 地活3F (447円)
- 9/30 日赤ボランティア くすのきの里3名 (1,500円)
- 10/9・11/13 厚生婦人部会アルル館 (6,000円)
- 10/12 99号編集会議 地活3F (0円)
- 10/13 ふれあい向丘区連合同まつり運動会 19号台風のため中止 (10,000円)
- 10/23 資源回収施設見学会 2名 (4,000円)
- 10/23 赤い羽根共同募金 (10,000円)
- 10/24 町連施設見学会 2名 (5,000円)
- 11/8 100号記念特集号編集会議 (3,600円)
- 11/12 日赤幹部研修会 於：川越 1名 (2,500円)

11/15 日展鑑賞会



午後、乃木坂の新国立美術館に他町会の方も入られて計9名で行ってきました。10班の山田朝彦さん制作の彫刻を鑑賞。ご本人からミニ解説を受けましたあと、それぞれ彫刻や洋画を鑑賞。帰途、館内の喫茶でお茶し、芸術の秋を楽しんできました。(0円)

台風19号 あの時文京区は・・・5班 金子てるよし(区議)

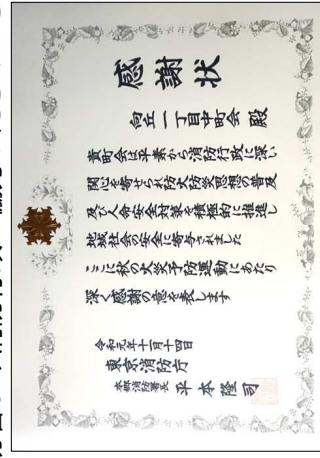
台風19号(10/12夜、東京に上陸)への対応として区は11日(金)15時に臨時水害対策本部を設置し、12日(土)には8時45分に六中など11施設(水害・土砂災害対応要領による)に避難所開設。13時に「高齢者、障がい者、乳幼児等とその支援者は避難を開始」の警戒レベル3を発令しました。避難対象者数は12日午後にはヤフーサトに区との協定により掲載(町名・丁目別)され、合計で3652世帯5191人(向丘は記載なし)でした。

実際の避難者は六中で最大43人(12日20時)だったのを含め、328人(区外からの避難者は45人)で、倒木13件、信号破損3カ所、水漏れ・雨水侵入は18施設と学校11校で発生しています(人的被害や浸水は無し)。また、神田川の調整池(環七地下)は貯水量が83%に達したそうです。

区は避難情報をHPやSNS等、ネットで随時発信しましたが「空朝になってから避難所開設を知った」との声も聞かれました。避難体制や情報伝達の両面で検証は区民参加で進めたいものです。

本郷消防署から表彰されました

当町会は本郷消防署より消防行政に協力したとことで表彰されました。11月14日(木)に西片の文化センターで行われた防災のつどいの受賞式には、会長と防災部長(代)が出席しました。



今後の行事予定 (11月～1月)

- 11/23(土・祭) 都展 13時半追分バス停集合
- 11/28(木) 根津神社つじまつり打ち合わせ
- 12/7(土)19:30～ 町会役員会 地活3F
- 12/11(水)・1/8(水)14:30～15:30 厚生婦人部会アルル館
- 12/14(土)9:30～ 100号編集会議 地活3F

資源回収

毎月第2水曜
回収開始 午前7:50
12月11日・1月8日
資源は7:50までに回収場所に出してください。

D級ポンプ 作動点検

水道局駐車場
工事のため
12・1月は中止です

新加入

第4班 杉山 太郎様 1-6-11-101
よろしくお願ひします。

訃報

9月28日 第3班 佐藤 紀子様 79歳
長年、町会の厚生婦人部の副部長として、献身的にご活躍いただきました。心よりお悔やみ申しあげます。

編集後記

先日亡くなった佐藤紀子さんのことを思う時、「漬物」「資源回収」「内助の功」「裏方」といった言葉がよぎります。敬老食事会などの集まりの時に提供してくれた漬物は美味しかったです、大量の野菜を漬け込んでいる時の姿を想像すると、半端ない労力に頭が下がります。毎月の1回の資源回収活動を、ポスター貼りから回収運転手への気遣いなどまでを30年来欠かさず続けてこられた。余人をもって代え難いことです。ご主人の五郎氏がテラー一界名工として数々の賞に輝き、名が広まるにつれ全国各地、時には海外まで講演・技術指導で出張が続く間、20名を超える門下生の面倒、子育て、店のやりくりその他一切を取り仕切り家庭を支え、あの疾風怒濤の時代を乗り越えてきた姿勢は終生変わることがなかったと思います。「汗は自分でかきましょう、実りは人にあげましょう」という表現がびったり当てはまるような裏方に徹した生き様に敬服するほかにありません。そんな幾ばかでも継承しご恩に報わねばと思います。(溪)



町会だより

向丘一丁目中町会飛脚便 No.99号
発行人：石原 文爾 発行日：2019年11月23日

隔月刊 11 2019



中町会防災訓練
11/3町内にて
関連記事2頁

「町会だより」発行100号記念

原稿大募集!

私たちの『町会だより』は平成15年(2003年)7月に『中仙道 東片 飛脚便』のタイトルで発行、隔月に発行を続け来年1月号の発行をもって100号を迎えます。当初はモノクロ1色A4判2ページ建ての簡素なものでしたが、町会員の皆様のご理解とご協力に後押しされ今日に至りました。ついでには、発行100号記念として、皆様からの様々な思い出等を掲載することになりました。多くの方々からの原稿をお願いいたします。

記

字数：400字以内 手書き・パソコン・メール便・・・

送付先：

- ①橋本一夫 ky.hashimoto@nifty.com ☎3815-8697
- ②神田橋恵里子 erikomamak-1@peace.ocn.ne.jp
- ③堀越草代 aki@coral.dti.ne.jp

締め切り：2020年1月7日(火)

テーマ：自由 (例)あの頃の町会の思い出 想い出の人々・出来事 「町会だより」雑感 町の変貌ぶり これからの街づくり "1号から全部綴ってます" 等々何でも結構です。

ホームページへのアクセスはこちら!



‘20年中町会新年会

1月18日(土)
18:30～20:30

会費：3,500円 (上海家郷菜)
場所：玻璃家 (ポニージャー) セブンイレブン向丘2丁目店隣り
申込み締め切り：1月5日
申込み先：橋本 03-3815-8697 柴田 080-5482-2978

‘19年歳末夜回り

お子さんとご一緒にどうぞご参加下さい

12月25日(水)～30日(月)

集合:午後8時

メゾン文京1階集會室

防犯交通部





中町会防災訓練 防災拠点を設定、 もしもの時に備える

今回は、初めての試みとして、町内全域の災害発生を想定した防災訓練が行われました。

町会1～14班を3ブロックに分け、①本部機能と「災害時炊き出し訓練」②「スタンバイパイプとD級ポンプの作動・放水訓練」③「防災品配

D級ポンプの体験訓練

給訓練」を行いました。特にスタンバイパイプとD級ポンプは路上消火栓に接続し、町会員が放水の実践訓練をしました。向丘保育園の園庭では厚生婦人部が作ってくれた心づくしの豚汁とワカメご飯を試食し一連の訓練を終りました。

訓練当日11月3日(日)・文化の日は、曇天、雨催いでしたが、90名弱(内子ども13名)が参加し、根津消防署隊員5名の指導のもと充実した訓練をもつことができました。また、最後に恒例のビンゴ大会(青少年部が担当)も行われ、楽しく中身の濃い一日になりました。町会員、近隣町会の皆様、消防署、防災や景品を提供してくださった方々のご理解とご協力に厚くお礼申し上げます。(支出42,172円)



炊き出し訓練の豚汁とアルファ米(ワカメご飯)を食べました。美味しいと何杯もお替りする方もおられ、作った婦人部メンバーは大喜びでした。



スタンバイパイプの設置訓練(撮:中島篤博)

敬老お食事会 お互いの健勝を祝い、楽しい2時間でした

10月16日(水)敬老会を開催しました。参加者47名(うち高齢者37名)がお弁当を食べながら互いの近況などを語り合ったのち、マリリンさん(9班)のマジックショー、大津さん親子(8班)の指導による合唱、ビンゴ大会と、大盛り上がり2時間でした。参加者は昨年を上回る過去最多となりました。生まれも育ちも中町会という方から退職後移り住んだ方まで、等しく地元を大切にす気持ちはあふれていました。なかには「一人暮らしなので災害時には助けてください」と発言される方もいて、中町会への期待を感じています。終了後の帰り道で名残惜しそうにおしゃべりしている姿も心温まる光景でした。「人情」と「気配り」が安心・安全な町を実現しています。これからも支え合いの精神を大切にしていきたいと思



最高齢の杉原さんの首頭で乾杯



→ 大津さんのコーラスメンバーと一緒にみんなまで合唱

← マリリンさんのマジックショー



中町会ここにこんな人が その19 神田橋宏治さん (4班)

～楽しく働けるように～



今回は、産業界として活躍中の神田橋宏治さんにお話を伺いました。神田橋さんは町内報83号の「ここにこんな人が」でご登場いただいた神田橋恵里子さんのご主人で、92号の同じ欄でも羊齧協会のメンバーとしてご参加いただきました。

一産業界とはどんなお仕事なのですか？

現在50人以上の従業員を抱える企業は、産業界の設置が法律で義務付けられています。主な仕事は従業員の働く環境を整えることです。例えば、従業員の健康診断の結果にすべて目を通します。工場労働者ですと粉塵被害、熱中症などが心配されますが、私の対象者はいわゆるホワイトワーカーなので人間関係や過労からのストレスといった精神面での問題が多いです。その方からお話を聞き、労働環境が改善するように企業と一緒に対応していきます。ただし、企業内のクリニックとは違い診察や診断を行うわけではなく、問題を抱えた従業員を専門医に紹介したり、適切に医療が受けられるように上司や雇用にアドバイザーを行ったりするコーディネーター(調整役)という役割です。現在は15～20社と契約していて、5,000人ほどの従業員の労働衛生の向上に努めています。

一そもそも医療を目標されたきっかけは？

私は大学院まで数学者になりました。会社勤めはころが限界を感じ医学部に移りました。会社勤めは無理だと思ったし、親戚に医者が多かったことも影響しました。勤務医として働いていた時、産業界の存在を知り資格を取りました。当直もある勤務医は今も続けています。

一産業界を始めて臨床医との間にどんな違いを感じましたか？

産業界を始めて5年になります。臨床医として患者さんに接する時、健康は家庭環境、地域の状況が影響します。家族の方とよく話をしたり、地域のことを理解したりすることに努めます。一方、産業界は職域、職場の特性が大きき要素になります。働く人の健康保持の増進や職場環境の改善などについて医学的な立場から企業、働く人と一緒に考えて助言し、より働きやすい職場を作り上げていくことに努めています。皆さんにも職域にもっと目を向けて楽しく働いてほしいと感じています。

一ところで最近山岳医のお仕事も始められたとか。

まだ世間に認知されていない職業ではないでしょうか。山岳医とは山の診療所ではないので現場で治療を行うわけではありません。登山ブームで特に中高年で山を楽しむ方が増えていますが、準備が不十分なケースが見られます。また日本では山岳救助隊に山岳医がいまいません。地元の警察や消防に山岳医が適切な助言を行うシステムがまだないのです。今の私の役目はアドバランを上げて、登山者が医療面で正しいサポートが受けられるようにすることだと考えています。私自身は高所恐怖症で、本格的な登山家ではありませんが...

一産業界にしても山岳医にしても私たちの知らない医療の世界を覗かせていただきました。益々のご活躍をお祈りします。(MM)

町会よりお勤め 「ほっこり広場」にお出かけ下さい

文京学園「ほっこり広場」から町会にお手紙(下記)をいただきました。地域でのつながりを深めてみませんか？どうぞお出かけ下さい。

私達、文京学院大学の学生は、「ほっこり広場・実行委員会」の皆様と、大学内の「まちラボ」という場所で、「ほっこり広場」という地域食堂を、月に一度のペースで開催しております。これまで、すいとん・パンケーキ・おはぎ・スイーツタルトなどを作り、食を通じたコミュニケーション・多世代交流をはかってきました。次回は、11月30日(土)12時～14時「ランチ会」を開きます。ご参加の方よろしくお願いたしました。なお12月は、21日(土)14時半～16時半です。

11月中旬 資源回収御礼 粗品を配布しました

日頃、毎月第2水曜日に行われる町会の資源回収(古紙回収)にご協力有難うございます。この古紙回収はこの1年間で123,240円の町会事業費収入になりました。今年度は町会員皆様(独自に資源回収事業を行っている班以外)に感謝を込めて11月中旬に粗品(鯉節)をお配りしました。(支出46,106円)



ほっこり広場のランチ会

今回は、初めての試みとして、町内全域の災害発生を想定した防災訓練が行われました。

町会1～14班を3ブロックに分け、㊦では本部機能と「災害時炊き出し訓練」㊧では「スタンドパイプとD級ポンプの作動・放水訓練」㊨では「防災品配給訓練」を行いました。特に㊩のスタンドパイプとD級ポンプは路上消火栓に接続し、町会員が放水の実践訓練をしました。㊦の恒例の「炊き出し」訓練(厚生婦人部が担当)は向丘保育園園庭で行われ、みんなで心づくしの豚汁とアールファ米(ワカメご飯)を試食し一連の訓練を終りました。訓練

ルファ米(ワカメご飯)を試食し一連の訓練を終了しました。訓練当日11月3日(日)・文化の日は、曇天、雨催いでしたが、90名弱(内子ども13名)が参加し、根津消防署隊員5名の指導のもと充実した訓練をもつことができました。

また、最後に恒例のビンゴ大会(青少年部が担当)も行われし、楽しく中身の濃い一日になりました。

町会員と近隣町会の皆様、消防署、防災品・景品を提供してくださった方々のご理解とご協力に厚くお礼申し上げます。

今回は、初めての試みとして町会内全域をカバーする防災を想定、町内を①・②・③の3ブロックに分け、①では本部機能、災害時炊き出し、D級ポンプの作動・放水②では防災飲食料の配給③ではスタンバイの作動・

放水を重点に実践訓練をしました。訓練後、本部(向丘保育園の園庭)で炊き出し班による心づくしの豚汁とアルファ米(ワカメご飯)を試食し一連の防災訓練を終了しました。訓練当日また、恒例のビンゴゲームも加わり、楽しく中身の濃い1日になりました。町会員皆様、消防隊員の皆様のご理解、ご協力に厚くお礼申し上げます。(支出42,172円)

